

第4号様式（8関係）

令和7年2月12日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立西山小学校

校長 金森京子

事業テーマ	すべての児童が活躍する全員参加型授業を目指して ～かかわりの文化を土台に～	
取組の目的	これまで取り組んできた「授業のUD化」と「SST・SGE」を土台とし、より高い効果を得るために以下の2点に注力する。 ①「SST・SGE」で育んだ人間関係を土台にUD化された授業実践をすることで、すべての児童が活躍する全員参加型授業を目指す。 ②講師を招いた校内研修を充実させ、指導方法や指導理念を全体で確認し、全教職員の共通理解のもとで進めていく。	
区 分 (○印を付ける)	☒ 新規事業・継続事業（総事業年数 年間、 年目）	
継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容		
事業名	事業内容	実施時期
にこにこタイム	○全校体制でSST・SGEを実施	通年
研究授業	○「全員参加型授業」を目指し、研究協議を推進	通年
先進校視察	○学校公開、研究発表等の視察	通年
Q-Uテスト(5月・10月)	○楽しい学校生活を送るためのアンケート	年2回
SST・SGE研修会	○にこにこタイムの検討・師範および講演（外部講師）	年1回
授業力向上研修会	○研究授業および講演（外部講師）	年2回
体力向上研修	○誰もが楽しく運動に取り組むことを目指す。	年1回

ドリームマップ	○自己肯定感を高め、自己理解と他者理解を促進し、多様な価値観を肯定し合える関係の構築。	1 月
取組の成果 ・一人一実践を行い、互いの授業を見合うことができる機会を設定した。タブレット端末を活用した研究協議を進めたことで、教職員の指導力向上とともに ICT 活用も推進することができた。また、業後に参観者による短時間の研究協議会を開くことで、授業改善につなげることができた。 ・SST・SGE 指導担当が中心となり、全教職員でにこにこ研修を実施し、めあての確認と指導方法の共通理解を図ったことで、統一した指導法で実践することができた。また、模擬研修では、指導者を順番に担当することで、それぞれのよさが生かされたにこにこタイムを体感することができた。 ・なかよし班や全校児童をシャッフルしてのにこにこタイムなど、学年を超えたかかわりの場面を増やすことで、高学年児童の責任と自覚の高まりが見られた。 ・にこにこタイムの取組について、保護者へ見ていただく機会を増やすことができた。また、県内や県外（島根・熊本）からの視察を受け入れ、にこにこタイムの様子を発信することができた。 ・全国学力・学習状況調査における人とかかわりに関する項目において、全国平均を大きく上回る結果だった。		
課題 ・にこにこトークを行う際に、何のためのトークなのか（確認、考えを深める等）をはっきりと示していく。 ・一人一実践や現職教育の部会の設定日に偏りがあり、計画的に行うことができなかった。 ・より深く研究したり追究したりするために、一人一実践のテーマや教科を絞るとよかった。 ・今後児童数が減少していくことを踏まえた研究の手だてや方法を考えていく。		